

令和3年12月 定例教育委員会会議録

開催日	令和3年12月24日（金）	
開催場所	半田市役所 会議室304	
出席委員	教 育 長 鈴 川 慶 光 委 員 榊 原 肇 委 員 正 村 日 登 美	委 員 新 美 大 委 員 久 米 宏 和 委 員 桂 優 子
説明のため出席した職員	教 育 部 長 岩 橋 平 武 主任指導主事 鈴 木 康 弘 給食センター所長 前 田 成 久 図 書 館 長 山 下 由 美 南吉記念館長 遠 山 光 嗣	学 校 教 育 課 長 森 田 知 幸 指 導 主 事 神 野 真 輔 生 涯 学 習 課 長 新 美 恭 子 博 物 館 長 関 正 樹
事務局	学校教育課総務担当主査 後藤 友紀子	
議案	(1) 半田市教育委員会事務局事務分掌規則及び半田市教育委員会事務管理規則の一部改正について	
報告事項	(1) 令和3年12月半田市議会定例会の報告について (2) 寄附、後援願等について (3) 児童生徒（園児）の交通事故・問題行動等について (4) 令和4年度空の科学館の臨時開館・臨時休館について (5) 地区公民館職員の委嘱期間の制限について (6) 令和3年度博物館展示予定（1月～3月）について (7) 第33回新美南吉童話賞の審査結果について (8) 各種事業について ① 第33回半田市公民館・区民館クラブ発表会について ② 夏井いつき句会ライブについて ③ 亀崎図書館・読み聞かせコンサート ④ 亀崎図書館・オトツシャ音読教室&折り紙～2022早春～ ⑤ 令和3年度半田市内小学校3年生の博物館見学について ⑥ 榊原澄香ペーパーアート展とペーパーアート教室の開催について ⑦ 新美南吉生誕110年記念ロゴマーク等の募集について	

〈 開会 15時00分 〉

1. 前回の会議録の承認	(事務局) 11月定例会の会議録について概要説明 →承認
2. 教育長報告	(教育長) ・11月27日、少年少女発明クラブにおけるクラブ活動見学会が開催された。3・4年生、5・6年生が各講座に約30人程度参加しており、その講座にモノづくりに携わる企業を退職した方々が指導者となり、アドバイスをいただいている。参加している子ども達は、モノづくりに興味関心を抱き、自分で研究を深めている。参加した子どもの中には、大人たちも驚く発明に関する考えを述べることもあり、指導にあたってくださる方の協

	<p>力があるからこそ、素晴らしい活動へと繋がっていると感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰式において、子ども達が名前を呼ばれた際に返事ができないことを危惧し、教頭会にてその旨を話題にしたところ、12月4日に開催されたあいさつ川柳表彰式、12月5日に開催された新美南吉読書感想後コンクール表彰式では、しっかりと返事ができていた。子ども達には、繰り返し、粘り強く挨拶や返事の大切さを指導する必要性を感じた。 ・12月2日、学校運営協議会情報交換会が開催された。地域によって温度差はあるが、情報交換会を通じて他地域の良いところを各校が取り入れ、更なる活動の充実に繋がれば良いと思う。 ・12月16日、市内5中学校生徒会役員がオンラインにて生徒会サミットを開催し、新しい制服について意見交換を行った。各校で集約した意見を出し合い、ここで出された意見をもとに12月23日、制服検討委員会を開催し、協議した。生徒からは、いろいろな意見があるかと思っていたが、現行の制服から大きく方向転換をするような意見が出されることはなかった。引き続き、令和5年度からの導入に向け、検討委員会を進めていく予定である。
<p>議案 1) 半田市教育委員会事務局事務分掌規則及び半田市教育委員会事務管理規則の一部改正について</p>	<p>(学校教育課長) 令和4年4月1日に機構改革が実施されることに伴い、スポーツ課が教育委員会に所管替えとなる。このたびの所管替えは、生涯学習課や学校教育課との更なる連携をはかり、スポーツ推進体制の強化を図っていきたいとするものである。このため、関係する「半田市教育委員会事務局事務分掌規則」及び「半田市教育委員会事務管理規則」について一部を改正したいとするものである。なお、施行期日は、令和4年4月1日である。</p> <p>(新美委員) 前回、スポーツ課は、健康子ども部に所管替えとなったが、今回、再び教育委員会に戻るようになった理由を再度確認させてほしい。</p> <p>(教育部長) 前回の所管替えは、スポーツ行政について、健康という側面で捉え、健康子ども部に所管を移したものである。このたびの機構改革では、スポーツの捉え方を健康ではなく、生涯学習におけるスポーツ、また、学校教育におけるスポーツといった観点から捉えることと整理し、教育委員会に戻ることにしたものである。</p>
<p>報告事項 1) 令和3年12月半田市議会定例会の報告について</p>	<p>(教育部長) 12月定例会が17日に閉会された。教育部から提出した補正予算（主なものとして、校舎外壁改修、学校給食食材購入及び図書除菌機購入等）及び公民館における使用料条例の改正については、全て可決された。</p> <p>令和3年12月半田市議会定例会では、4名の議員から一般質問があった。</p> <p>① 中川健一議員 選挙公約の進捗状況として、39の質問のうち、教育委員会には、5つ質問がなされた。</p> <p>1つ目に、選挙公約である教育先端都市、ICT活用教育を皮切りに、スマートシティへ！に関する質問がなされた。</p> <p>答弁としては、GIGAスクール構想を受け、一人一台端末を始めとするICT教育環境を整備し、小中学校では、双方向型の一斉授業やインターネットを活用した調べ学</p>

習ができるようになったりするなど、授業の様子は変わってきている。また、授業だけでなく学校活動の様々な場面での活用が進んでいる。令和4年度からは、ICT教育推進の専門家や教育関係者で構成する推進会議を立ち上げ、「ICT 端末の安全・安心な活用」、「学校のデジタル化・クラウド化」、「先端技術の効果的な利活用」などを図っていく旨を説明した。

2つ目に、クラス担任以外の専門チームやICTの活用で、不登校・ひきこもりの個々の状況に向き合うことに関する質問がなされた。

答弁としては、現在は、各中学校区に配置している教育相談員を中心に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどととも福祉や医療などの関係機関が連携して、児童生徒や家庭の支援に努めている。今年10月には、新たな適応指導教室（ビーナスルーム）を亀崎公民館に開設した。今後は、今あるサポート体制に専門家や地域の方などを新たなメンバーとして拡充し、不登校対策を進めていく。また、適応指導教室や家庭でオンライン授業や相談ができる体制の整備を進め個々の状況に対応していく旨を答弁した。

3つ目に、小学校の教科担任制を進め、教員の負担を軽減することに関する質問がなされた。

答弁としては、教科担任制を導入するメリットは、子ども達にとっては、専門性の高い指導を受けられること、教員にとっては、授業準備の負担が軽減し、子ども達と向き合う時間が増えることである。小学校では学級担任が全ての授業を行うことが基本だが、現在は、専科教員が配置されたり、学級担任同士が授業を交換したりしている。文科省も小学校高学年に段階的に教科担任制を導入する考えを示していることから、今後は、国・県による教員配置計画の動向を踏まえつつ、教科担任制を進めていく旨を説明した。

4つ目に、安心安全な地産食材、郷土食を学校給食に積極採用し、食育と地元生産者応援をかなえる。予算超過分は補助することに関する質問がなされた。

答弁としては、学校給食は、子どもたちの心身の健全な成長だけでなく、食育や郷土理解を深める場としても重要な役割を担っている。食材は、必要な時期に確実に納品できるものを価格や品質などを比較検討し、以前にも増して産地に配慮した食材を採用している。12月定例会には、地産食材の購入のための食材費を予算計上し、地元事業者の応援を図っていること、さらに、令和4年度には、より一層の地産地消の推進を図り、食育の推進と地元生産者の応援をしていく旨を説明した。

5つ目に、「山車・蔵・南吉・赤レンガ」半田が誇る文化を継承保全する。学芸員を配置した山車文化の発信拠点をつくることに関する質問がなされた。

答弁としては、現在、博物館では、「半田市立博物館展示整備基本方針」の策定を進めている。また、山車・蔵・南吉・赤レンガなどの文化遺産については、教育委員会に配置されている学芸員が中心となって調査研究や情報発信に取り組んでいる。山車の展示やガイドブックの作製、保存修理に関する調査、資料作成等については、博物館において、常駐する学芸員が行っており、当面は博物館を山車文化の発信拠点と位置づけて取り組んでいく旨を説明した。

②坂井美穂議員

子どもの弱視の早期発見、早期治療に関し、幼稚園・保育園での視力検査後の状況に対する質問がなされた。

答弁としては、視力検査は、4歳児、5歳児を対象とし、幼稚園では6月に、保育園では10月から11月に実施している。例年、視力検査で異常が見つかり、矯正のた

	<p>め眼鏡を着用する園児がいる。昨年度は、幼稚園 3 名、保育園 4 名の園児が眼鏡を着用し始めた。その他にも、視力に左右の差が大きい場合に、悪い方の目の発達を促すため、良い方の目にアイパッチと呼ばれる眼帯を貼り、弱視の治療をする園児がいる旨を答弁した。</p> <p>③竹内功治議員 スマートフォンなどのアプリを活用した取組みとして、学校生活アプリの導入に対する質問がなされた。 答弁としては、現在、保護者への連絡手段に使用している「学校メルマガ」は、学校からの配信機能しか無く、児童生徒の出欠連絡など保護者からの送信機能が無いことや、学校活動の情報を配信する場合に、相手を限定できないことが課題となっている。保護者への利便性の向上や教員の負担軽減にも効果が見込めることから、保護者と学校が相互に送信できるアプリの導入に向け準備を進める旨を答弁した。 続いて、匿名報告アプリ「ストップイット」の導入について、質問がなされた。 答弁としては、ストップイットアプリは、子どもが問題を率直に相談できるだけでなく、いじめを匿名で報告できることで早期発見が可能となるとともに抑止効果も期待できる。一方で、いつでも気軽に相談できる便利なツールであるが故に、時間帯を問わず対応できる体制整備が必要であり、導入への課題となっている。いじめの早期発見・早期対応が肝要であり、アプリの導入について調査研究を進める旨を説明した。</p> <p>④國弘秀之議員 犯罪のない街づくりに向け、児童生徒に対する防犯教育はどのように行われているか、質問がなされた。 答弁としては、市内の小中学校では、警察と連携して「連れ去り被害」や「校内への不審者侵入」についての「防犯教室」を行ったり、学級担任や生徒指導担当がインターネット犯罪対策についての授業を行ったりしている。また、職員を対象とした校内研修として、警察と連携し、不審者対応訓練を実施している学校がある旨を説明した。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>2) 寄附、後援願等について</p>	<p>(学校教育課長) ・5 件の寄附。 (内訳：1 件は、中学校の楽器充実として、アップライトピアノの寄附。1 件は、幼児教育充実として、ウエルカムプレイハウスの寄附。1 件は、教育活動の充実として、タブレット PC ケースの寄附。1 件は、公民館の備品充実として空気清浄機の寄附。1 件は、教育振興に寄与するためとして、書籍の寄附。) ・15 件 (うち、4 件が新規) の後援名義を許可。 ・1 件の共催事業を承認。</p> <p>(正村委員) アップライトピアノは、どこに寄附されるのか。</p> <p>(学校教育課長) 寄附者の意向により、亀崎中学校への寄附である。</p>

<p>3) 児童生徒 (園児)の交通 事故・問題行動 等について</p>	<p>(指導主事)</p> <p>令和3年11月16日～12月20日の交通事故・問題行動等について</p> <p>○交通事故：5件</p> <p>11月20日(土) 1件 11月25日(木) 1件 12月1日(水) 1件 12月3日(金) 1件 12月17日(金) 1件</p> <p>○児童生徒の問題行動(被害等)：4件</p> <p>11月18日(木) 1件 11月23日(火) 1件 12月4日(土) 1件 12月7日(火) 1件</p> <p>○交通事故以外の事故：4件</p> <p>11月19日(金) 1件 12月2日(木) 1件 12月3日(金) 1件 12月14日(火) 1件</p> <p>○学校等被害等：なし</p> <p>○不審者情報：2件</p> <p>11月30日(火) 1件 12月8日(水) 1件</p> <p>(教育長)</p> <p>今回は、報告件数が多いため、気を付けていきたい。</p>
<p>4) 令和4年度 空の科学館の臨 時開館・臨時休 館について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>空の科学館の臨時開館、臨時休館日については、半田空の科学館条例施行規則に基づき年末年始と毎週月曜日と定めている。令和4年度における臨時開館は、8日間(春・夏・冬の長期休暇中の月曜日を開館するもの)、臨時休館は、施設のメンテナンス実施のため、2日間とする。なお、臨時開館、休館に伴う経費については、令和4年度の指定管理料の範囲内で対応する。今後、市報、ホームページ及び館内掲示等にて利用者へ周知していく。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>5) 地区公民館 職員の委嘱期間 の制限について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>地区公民館職員は、各地域から推選された方々に委嘱し、公民館活動を展開していただいているが、このたび、この通算委嘱期間に上限を設けさせていただくこととした。近年、各種審議会等、市の各種事業等に携わっていただく方々の高齢化や固定化が見受けられ、世代交代や次世代の育成が滞っていることが課題として取り上げられている。公民館職員においても例外ではなく、公民館の組織や活動の活性化のため、一定</p>

	<p>の期間を経過したら、後継者を育て、交代する仕組みへしたいとするもので。</p> <p>以上のことから、令和4年4月1日以降に新たに委嘱する地区公民館職員の通算委嘱期間は、15年以内とする。なお、経過措置として、令和4年度以前に通算委嘱期間が15年に達する職員を令和4年度に委嘱する対象としたい場合は、令和5年3月31日までの1年間限り本制限を猶予とする。</p> <p>(榊原委員) 達している公民館は、あるのか。</p> <p>(生涯学習課長) 住吉公民館及び協和公民館の主事各1名が該当する。</p>
<p>6) 令和3年度博物館展示予定(1月～3月)について</p>	<p>(博物館長) 1月8日から1月10日までの期間は、第40回友画会展示、その後、1月13日から2月22日までの期間は、市内小・中学校関係の展示を順次開催する。小中学校関係の展示は、1月13日(木)から1月25日(火)までは、市内小中学校の特別支援学級及び特別支援学校の作品を展示する「第50回半田さわやか教育展」、1月26日(水)から2月3日(木)までは「半田市小中学校書写展」、2月4日(金)から2月9日(水)までが「第37回半田市中学校美術部展」、2月10日(木)から22日(火)まで、市内小中学校児童生徒の絵画や工作を展示する「第37回半田市造形教育展」を開催する。いずれも児童生徒の力作を展示するので、委員にもぜひお越しいただきたい。なお、各展示の最終日は、作品の片付けと、次の展示準備のため、午前中までの観覧となるため、注意いただきたい。</p> <p>また、2月5日(土)から3月6日(日)まで1階展示コーナーにて恒例の「ひなまつり展」を開催する。この展示では、市民から寄贈いただいた御殿飾りの雛人形を始め、7段飾りや乙川人形の内裏雛などを展示する。なお、期間中には県内各地の博物館・資料館との連携事業として「ひなまつりスタンプラリー」も開催する。</p> <p>最後に、2月26日(土)から4月10日(日)までは、仮称だが、館蔵品展として、博物館が所蔵する古文書を活用し、「古文書にみる江戸時代の庄屋の仕事」を開催予定。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>7) 第33回新美南吉童話賞の結果について</p>	<p>(新美南吉記念館長) 既に発表済みだが、第33回新美南吉童話賞の入賞作品が決まったので報告させていただく。今回の総応募数は1,800編。ステイホームの影響で増加した昨年の1,966編よりは減少したがまずまずの応募数であった。</p> <p>最優秀賞は、北海道網走郡津別町の小塚翔子氏の「雪虫」。北の大地を舞台に、冬を連れて来るといわれる雪虫が、自分を見たことのない冬とはどんなものか、いろいろな動物たちに訊いてまわる話である。津別町は、屈斜路湖のすぐ近くだが、作者の暮らす北海道の大自然を美しく描いている。作者は津別町で移住定住策や町内企業の魅力を発信している地域おこし協力隊のメンバーで、近々、受賞のニュースが北海道新聞の全道版に載る予定である。新美南吉童話賞の存在が北海道中の人に知っていただけると喜んでいる。</p> <p>オマージュ部門大賞は、千葉県香取郡の数井美治氏の「悲しみ、買います」。愛犬を</p>

	<p>亡くした悲しみがいつまでも癒えない少年が、悲しみを買い取るという不思議な男にただで自分の悲しみを売ってしまう。はじめは悲しさがなくなってよかったと思うのだが、別れの悲しみも愛犬との大切な絆だったのだと気が付いて、悲しみを取り戻そうとする話である。そのほか、昨年はコロナの影響で夏休みの課題にならなかったこともあり、半田市民の受賞者が一人もいなかったが、今年は板山小学校の坂田詩花氏が小学校高学年の部で佳作を受賞した。</p> <p>表彰式は、3月5日(土)、市民交流センターホールにて予定している。昨年は最優秀賞とオマージュ大賞の2名に絞っての表彰式だったが、今回は受賞者全員に案内予定である。ただし、教育委員の案内は控えさせていただくので、ご理解いただきたい。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>8) 各種事業について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>① 第33回半田市民・区民間クラブ発表会について</p> <p>令和4年2月20日(日)に雁宿ホール(大ホール)にて開催する。昨年度は、大ホールの舞台改修のため、開催ができなかったため、2年ぶりの開催となる。現在、改築中の岩滑公民館を除く13地区公民館、さらに、中央公民館及び自治区から瑞穂区、鴉根区が参加する。委員にもぜひ、鑑賞いただきたい。</p> <p>② 夏井いつき句会ライブについて</p> <p>ジーコーポレーションとの共催事業として、夏井いつき氏を招き、句会ライブを開催する。令和4年3月20日(日)14時開演。チケットは、1月15日(土)から雁宿ホール他、チケットぴあ、ローソンチケットにて販売する。この句会ライブは、来場者参加型で、先生に教えていただいた通りに実際に俳句を作り、その中から選ばれた方は、実際に批評していただけるといった実体験にて楽しめるライブになる予定である。また、このライブからは、これまで設けていた集客数の制限を撤廃し、1,300席全席、販売するものとなっているので、ぜひお越しいただきたい。</p> <p>(図書館長)</p> <p>③ 亀崎図書館・読み聞かせコンサートについて</p> <p>令和4年2月13日(日) 午前11時から、亀崎公民館ホールにて「読み聞かせコンサート」を開催する。半田市音楽文化振興に関する協定書に基づく「セントラル愛知交響楽団」との提案事業として開催するもので、読み聞かせボランティア「きりんの会」によるパネルシアターの上演に生演奏の音楽を添えていただく。また、ミニコンサートも行う。定員50名で事前申し込み制。1月7日(金)から16日(日)まで募集し、応募者多数の場合は抽選。</p> <p>④ 亀崎図書館 オタツシャ音読教室 & 折り紙～2022早春～について</p> <p>令和4年2月18日(金) 午前10時30分から、亀崎公民館視聴覚室にて「オタツシャ音読教室 & 折り紙2022早春」を開催する。季節に合った作品などをテキストに、音読と季節の折り紙を楽しんでいただく。60歳以上の方を対象とし、1月18日(火)から申し込みを受け付ける。定員20名で先着順。</p>

	<p>(博物館長)</p> <p>⑤ 令和3年度半田市内小学校3年生の博物館見学について この事業は、郷土学習の一環として毎年実施しているもので、年明け1月12日の雁宿小学校から2月9日の乙川小学校まで市内13小学校の3年生児童に博物館を見学していただくものである。この見学では、令和元年度に制作した映像ソフトを活用して半田のまちの学習を行うとともに、常設展示室の見学や、米づくりの道具を始め、わらざうり、ランプ、蓄音機、黒いダイヤル式電話機など、昔の道具について学芸員が解説を行う。</p> <p>(新美南吉記念館)</p> <p>⑥ 榊原澄香ペーパーアート展とペーパーアート教室の開催について 新美南吉記念館では、令和4年1月15日(土)から4月10日(日)にかけて「榊原澄香ペーパーアート展」を開催する。毎年冬の時期に開催する人気の企画展で、美浜町在住で以前は市内で小学校教諭をされていたペーパーアート作家榊原澄香氏による作品展である。今回は先日、自費出版されたばかりの絵本「巨男の話」の原画として制作された作品18点を含む45点が出品される。この展示会に合わせ、2月27日(日)に、榊原氏を講師にペーパーアート教室を開催する。「巨男の話」の一場面を初心者でも作りやすいように簡略にした図柄で作成する。応募受付は1月15日(土)から。</p> <p>⑦ 新美南吉生誕110年記念ロゴマーク・ポロシャツ等のデザイン募集について 令和5年は新美南吉の生誕110年だが、市民の多くはまだそれに気づいていない状態である。まずはあと1年で生誕110年になるということを知っていただき、そこから市民の関心を高めていければと考えている。そのきっかけとしてロゴマークの募集を考えていたところ、毎年、半田市のポロシャツを制作販売している観光協会が令和4年は南吉柄で制作し、生誕110年プレ事業としてそのデザインを募集したいということからロゴマークとポロシャツ等PRグッズのデザイン募集を合同で行うことになった。募集期間は2月10日(木)までで、発表は3月中旬。選ばれたロゴマークは記念館における生誕110年のPRに使用するほか、今後募集していく市民や企業団体が企画する記念事業でも使っていただく予定。ポロシャツは、3月下旬から先行予約、5月中旬から一般販売するので、ぜひ委員も購入の上、PRにご協力いただきたい。なお、この事業は三菱UFJ銀行半田支店からいただいた寄付でほぼ全額経費を賄っているものである。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
各課からの事務連絡	<p>(主任指導主事)</p> <p>各種団体から要望書及び申入れ書が届いたので、報告させていただく。 1点目は、愛知県学校事務職員組合が2021年8月3日に愛知県教育委員会に対し「2021 学校事務職員の処遇改善等の要求書」を提出した旨を情報提供として本市教育委員会に報告したものである。要求書の主な内容としては、賃金など労働条件の改善とともに適正かつ円滑な学校運営、学校教育の向上を目指し、諸問題</p>

	<p>の解決を求めて、賃金・労働条件・定数・コンピュータ合理化問題・福利厚生 の 5 項目について要望したものとなっている。</p> <p>2 点目は、半田市教育組合から本市教育委員会へ人事に関する申入れ書が提出されたものである。主な内容としては、人事の基本方針に関しては、愛知県の義務教育振興をはかるために、教員の意思を尊重し、適材適所の構成を十分配慮し、人事の公正を期していただきたい、また、不当転退職が明らかになったときは、速やかに善処していただきたい、といった 2 点である。</p> <p>(榊原委員) 人事に関する申入れは、毎年、行われるものなのか。</p> <p>(主任指導主事) 知多管内における 5 市 5 町で構成されている知多地方教育事務協議会宛にも毎年、申入れ書が提出されており、愛知県知多教育事務所もこの申入れ内容を承知した上で人事に関する配当方針を決定している。</p> <p>(主任指導主事) 半田中学校がこの冬休み期間に、姉妹友好都市であるミッドランド市在住者とオンラインによる交流会を実施する。期日は、12 月 29 日(水)、30 日(木)、両日ともに 9 時から半田中学校にて、各日希望する生徒 15 名ずつが参加する。</p> <p>(生涯学習課長) レッツ・チャレンジ～幼少期からのアートスタート～に関するお知らせである。本講座は、小さな頃から文化芸術に触れる機会を作り、工作やお絵描きなど親子で行う文化芸術活動のきっかけづくりを目的として、3 歳以下の子どもを対象とした講座を企画したもの。講座は 3 回あるが、1 回のみ参加も可能。市報新年号に掲載し、1 月 7 日(金)から受付を開始し、先着順。</p>
<p>委員からの意見 提言</p>	<p>(榊原委員) 少年を守る会の今後について、各地区からどのような意見が出ているのか教えてほしい。</p> <p>(生涯学習課長) 各地区、地元との調整を行うとともに、先日 5 地区の担当者等を交え会議を実施した。会議では、少年を守る会の今後について、方向性を示すことができている地区もあれば、今後について、調整中の地区もあった状況である。そのため、現時点では調整中となるが、いったん 1 月下旬を目安に各地区から現状報告を行っていただく予定であるが、地区により今後の動向には差が生じると考えている。</p> <p>(榊原委員) 今年度も蔵のまちネットワークの中で、まちなか成人式を企画しているのでお知らせする。街中をあげて、市内の各所で新成人をお祝いしていこうとするものであり、このような企画の情報提供ができる場があると良いと考える。</p> <p>(新美南吉記念館長) 委員から紹介いただいたように、まちなか成人式の一環として、新美南吉記念館では</p>

1月4日(火)から1月16日(日)までの期間、成人式の案内葉書または当日配られるパンフレットを提示いただければ、新成人とその同行者2名を無料で入館できるようにする。これは駅前商店街の新成人お祝いセールと合わせた期間で、赤レンガ建物も同じ期間、同じ内容で新成人を招待していく。

(博物館長)

旧中埜家住宅についても、当日10時から14時まで、学芸員を配置し、住宅の案内及び説明や外観での記念撮影を実施する。

(久米委員)

成人式は、今年度も2部制になっているので、昨年、午後開催の新成人からこのような企画に参加しづらい、との感想を伺ったのでお知らせする。

(桂委員)

先日、性の授業に参加して話を伺った。生徒にとっては、これからのことを考えるにあたり、とても大切なことであると思ったが、なかなか1回50分の授業でたくさんのことを学び、本人がいろいろと考えることは難しいのではないかと感じた。性のことを通じ、自分だけでなく、相手のことも大切であるといった人権に関することや、自身の将来といった面についてなど、それぞれが点ではなく、これらの全てが繋がっていると考えるので、学校の中でうまくそれぞれの点を繋げていくことにより、生徒が自分事として捉えることができるのではないかと感じたのでお知らせする。

また、文化芸術振興計画について、学校単位で何か文化芸術に関わる機会があると良いと感じたが、そのような機会を学校で設けるために活用できる仕組みなどがあれば教えてほしい。

(主任指導主事)

文化庁が実施している補助制度を活用して、文化芸術鑑賞を行っている学校がある。また、中学校では生徒が在籍している3年を一巡として原則、在籍している期間において音楽、演劇などに触れることができるように機会を設定している学校もある。

(桂委員)

親子間で文化芸術に触れることも大切であると思うが、学校で機会を設けることで、仲間と感想を共有することができ、話に広がりを持たせることができると思う。また、教員においても文化芸術を大切に考えるのもと、進めていただけるとさらに良いと感じた。

(生涯学習課長)

文化庁が実施している補助制度の案内を各校に行う際には、学校で実施することの意義を伝えていくようにしたい。

(榊原委員)

ファーストフード店に関する物流状況について報道されていたが、給食食材への影響はどうか。

(学校給食センター)

現時点、食材の入荷において、気候の影響により不作となる食材もあるが、必要な

	<p>食材は納品いただける状況にあり、物流困難な状況に至ってはいない。</p> <p>(正村委員)</p> <p>ICT 教育にともない、タブレットを使用しての授業が進められているが、パソコン教室はどのようになるのか。今後、学校でパソコンを使用する機会がなくなると、自宅にパソコンがない場合、パソコン入力ができない児童生徒が増えることに繋がり、ますます格差が広がるのではないかと感じた。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>現在あるパソコンについては、新規契約を行う予定はないが、今後の展開について現在検討しているところである。</p>
<p>次回開催等</p>	<p>(事務局)</p> <p>次回の定例教育委員会は 1 月 20 日(木)10 時～ 会場：半田市役所 3 階 会議室 305</p> <p>次々回の定例教育委員会は 2 月 18 日(金)10 時～ 会場：半田市役所 3 階 会議室 305</p> <p>1 2 月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 16時40分 〉